科目ナンバリング	U-LAS05 10007 LJ23						
授業科目名 <英訳>	人文地理学 Human Geography			担当者所属 職名・氏名	地球環境学舎 教授　　山村　亜希		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

人文地理学は、現代・過去における諸事象が、なぜその立地で、その形態で成立／展開するのかを、空間という土台の上で考える学問である。それは「地（場所・空間・景観・地域）」の「理（ことわり・しくみ・成り立ち）」を解くことでもある。本授業の目的は、このような人文地理学の「地」の「理」を解く視点と方法を理解することにある。本授業では、様々な地域・時代の多様な現象を、人文地理学の視点と方法から解く考察プロセスを解説する。そのとき、地形図の読図やグループでのディスカッションも併せて行う。

　高校で地理を履修していなくても良いが、地理・地図・歴史への興味関心は持って欲しい。地形図への着色作業や地名探しなどの手作業を面倒がらず、積極的に地図に向き合う態度を期待する。

[到達目標]

人文地理学の基本的な視点・方法を理解し、多様な人文現象を地理学的にとらえる発想力を読図を通して養う。

[授業計画と内容]

授業の進行状況に応じて、順番やテーマを変更することもある。

第1回　授業の概要
第2回　大都市郊外の空間と社会ー愛知県長久手市ー
第3回　地図から読む歴史ー京都ー
第4回　京都郊外の地形図を読む―京都府向日市―
第5回　京大生の出身地の地理的分布を考える
第6回　読図からフィールドへー石川県小松市ー
第7・8回　日本史を地形図と読むー桶狭間の合戦ー
第9回　期末レポートとその参考例の読図
第10回　城下町から現代都市へ―石川県金沢市―
第11回　鉄道と住宅地開発ー京都府向日市ー
第12回　温泉観光都市の地形図読図
第13回　散村の形成と維持ー富山県砺波平野ー
第14回　総括
第15回　フィードバック（フィードバック期間中に行う）

[履修要件]

特になし

人文地理学(2)へ続く↓↓↓

人文地理学(2)

[成績評価の方法・観点]

期末レポート60%、平常点（授業への参加状況、小テスト）40%

[教科書]

毎回、地図を中心とした大判のプリント（A3サイズ・2枚程度）を配布する。複数回で連続で使用し、前回の読図・着色作業を前提として講義を続ける場合も多いので、前回分も持参すること（ファイリングして持参がベター）。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業後に授業を振り返りながら、小テストに回答することが復習となる。また、授業中に終了しなかった読図・着色作業を行いつつ、授業内容を振り返る。

[その他（オフィスアワー等）]

授業中に地図や図表に着色するなどの作業を行うことがあるので、色鉛筆・マーカー（赤・青・黄色・緑の4色）や色ペン複数色を持参する。